

# 被災地で健康支援に尽力する薬剤師たち

## 東日本大震災から11年が経過

### 宮城県薬剤師会の取り組み



避難所の人たちに必要な薬を届け、服薬時の注意点などの説明を行う

2011年3月11日の東日本大震災から11年が経過した。被災地の健康支援や生活環境の改善に薬剤師が力を発揮し、全国各地での震災対応に向けた対策を考える上で大きな教訓にもなった。この10年間における宮城県薬剤師会の取り組みを写真で紹介していく。



医薬品等の保管・管理、払い出し、不足の手配などを行った



宮城県は震災から2日後の3月13日、県庁近隣にある生田山太郎会長(当時)の薬局に緊急の対策本部を立ち上げ、情報収集を中心に対応を開始した。県と打ち合わせし、緊急通行車両の申請、支援薬剤師の募集、集積所での医薬品の仕分け、救護所や避難所での薬剤師業務など、県と薬剤師会との間で取り交わされている協定書に基づき業務を実施した。

日本薬剤師会の災害対策本部に状況報告と支援要請を行い、全国から支援薬剤師が集まり、その数は4,988人に上った。支援薬剤師の支援日数や経験、技能を配慮し、各避難所で必要とされる薬剤師を派遣するコーディネート業務は原簿の役割だ。特に壊滅的な被害を受けた南三陸、女川、石巻には重点的に薬剤師を配置し、支援活動を行った。

想定を超える規模の大災害に当初策定したマニュアルや災害協定に基づき情報交換、指揮命令系統がうまく機能しなかったが、全国から膨大な数の薬剤師が救援に駆けつけてくれたことで、対応できた。

県外から搬入された支援物資を品目ごとに集める物資集積所も設置した。3月17日時点で食品支援倉庫、衣類支援倉庫、生活用品支援倉庫、暖房支援倉庫の4倉庫を確保し、医薬品等の保管・管理、医薬品等の払い出し、不足医薬品の手配、避難所向け救護医薬品セットの作成・供給を行った。

医薬品供給では、避難所へのOTC医薬品リストを作成し、当時の避難者12万人に4,000セットを県で購入してもらい配布した。「必ず薬剤師の手で」を基本に、第1類医薬品は文書をもっての情報提供が必要であったため、文書を印刷・添付により配布した。



「第55回日本薬剤師会学術大会」に出展します  
仙台国際センター展示棟 ブースNO JF-1 でお待ちしています

2023年前半リリース予定 ご期待ください!

MDSOL独自の次世代コミュニケーションサービス

- 必要な人に必要な時に必要な指導を
- 短時間で適切に
- しっかりつながる

保険薬局システム

# 調剤 Melphin®/DUO

メルフィン・デュオ

インターネットサービス

メルフィン 検索 <https://www.mdsol.co.jp/melphin/>

三菱電機ITソリューションズ株式会社 MDSOL



被害を受けた県薬会館



爪痕残る被災地

# 利を患者に手渡し



説明を受ける薬剤師班(救護)



## 服薬フォローアップ機能を標準搭載。

- ✓ フォローアップメッセージをLINEで自動送信
- ✓ LINEでのやり取りを電子薬歴に簡単転送
- ✓ 処方と連動して最適な指導コンテンツを送信

※「フォロナビ®」は、株式会社ユニケソフトウェアリサーチと東京理科大学薬学部との共同研究により開発しています。

電子薬歴レセコン一体型システム  
**P-CUBE n**

患者服薬フォローサービス  
**フォロナビ**

**NEW**  
患者さまの安心をプラス  
**ビデオ通話機能**  
(オプション)



**株式会社ユニケソフトウェアリサーチ**

TEL. 03-6747-0030

フォロナビ

検索



第55回日本薬剤師会学術大会  
10月9日(日) ~ 10日(祝)月

ユニケブース JS-5 でお待ちしています



江陽グランドホテルで行われた「東日本大震災復興祈念式典」



### 仮設薬局も整備

条件付きで開設された女川薬局



避難所となっている学校の体育館などに医師と一緒に巡回し、その場で処方された薬剤を調剤し、患者に手渡すなどの支援を行った。

震災から150日経過した段階には、徐々に全面的な支援から部分的な支援に変わるなど復興が進むようになった。そして10月9日には、

避難所となっていた学校の体育館などに医師と一緒に巡回し、その場で処方された薬剤を調剤し、患者に手渡すなどの支援を行った。

震災から150日経過した段階には、徐々に全面的な支援から部分的な支援に変わるなど復興が進むようになった。そして10月9日には、

南三陸町も11薬局のうち10薬局が津波で流出した。総合体育館ベイサイドアリーナの駐車場内に公立志津川病院の仮設診療所があり、すぐ近くで薬がもらえる地域医療の復興のための拠点薬局として「宮城県薬業会管志津川薬局」が同8月に開設された。

## 避難所を回り薬剤

医療機関も被災したために設置された仮設診療所。薬剤師は棚を作り、そこに薬を並べて医師との連携のもと、避難者に医薬品使用の助言を行った。

災害時には患者が服用している薬が手元がない場合があるため、薬剤師が服用している医薬品に関する情報を聴取し、処方された医薬品に近い薬効を持つ医薬品があれば医師にそれを推奨した。また、医師が処方箋に書いた薬剤がなくても後発品が入手できている場合は後発品を提案することも行った。



江陽グランドホテルで「東日本大震災復興祈念式典」を開催。多くの関係者が詰めかけた。

仮設診療所が整備され、復興のための拠点薬局も整備されることとなった。町民9932人中死者575人に上った女川町。町内の医療機関の被害は甚大で、女川町立病院は16mの高台にあったにも関わらず、1階の天井近くまで浸水したという。町内4薬局全てが壊滅した。

同7月に女川町から特例で会営薬局の開設が可能になったとの知らせが入った。医療機関の敷地に薬局の開設は認められないが、町内の大部分が地盤沈下し、土地の嵩上げ工事が終わるまでは建築許可が下りないため、女川の地が復興するまで公共団体が開設するという条件付きで許可が下りた。

電子薬歴システム

# SOAP.Q&S. i-PROUD

SOAP.Q&S(クオリティ&スピード) アイ ブラウド

## 薬局業務をDXでサポート!



調剤薬局支援システム

# NO@H FOR THE PHARMACY.

ノアフォーザファーマシーバージョン7

## 新世代V7始動。



第55回 日本薬剤師会学術大会 2022 10/9日 10月祝日 ノアメディカルシステムの展示ブースにぜひお立ち寄りください!

©ノアメディカルシステム製品に関するお問い合わせ・詳しい資料のご請求は>>福岡支店 TEL 092-263-8608 またはホームページから <https://www.noah-medical.jp/web/>



NOAH MEDICAL SYSTEM  
ノアメディカルシステム株式会社

■本社・福岡支店 〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル5F TEL 092-263-8608  
<https://www.noah-medical.jp/web/> ノアメディカルシステム 検索

■北九州支店 ■久留米支店 ■鹿児島支店 ■熊本営業所 ■長崎営業所 ■宮崎営業所 ■東京営業所



ラインラインが喪失した現地でも負担なく調剤が可能



13年の秋に開発したモバイルファーマシー

## 東日本台風被害で活躍

# 災害時に医薬品供給を支援

宮城県は、2013年秋に電気や水などライフラインが喪失した被災地でも医薬品供給が可能なたモバイルファーマシーを全国で初めて開発した。

できる方法がないかと発想したのがモバイルファーマシーになる」と話す。

ある。加茂氏は「卸から届けられる薬についてはモバイルファーマシーが目印になり、1カ所に届けられるのが大きい。運ばれた薬は収納され、患者さんに対して迅速に使うことができる。薬剤師もストレスなく支援ができる」と効力を強調する。

モバイルファーマシーは宮城県薬を皮切りに全国に広がってきており、災害時の医療を支えている。平時においても自治体や小・中学校を対象とした災害時の広報・教育に加え、自治体や病院などと共にモバイルファーマシーを活用した訓練など活用が進んでいる。

## 10日で処方箋162枚調剤 運用進むモバイルファーマシー



卸から届けられた医薬品を車内に収納

理想の医療空間をカタチに。患者さんと向き合う時間創出を目指して。

Your Partner in Medication  
**YUYAMA**

### 散薬秤量の自動化を実現!

どなたでも正確・安全に散薬秤量ができる新商品誕生。

NEW

鑑査システム一体型自動散薬秤量機

**autoonedu**  
zero



#### 「auto onedy-zero」の特徴



どなたでも正確な秤量業務。散薬カセットから直接自動で秤量するため、どなたでも正確に業務を行えます。



散薬カセットへの薬品補充も安全に。薬品補充の際は散薬カセットのRFIDチップと、充填対象のGS1データバーによるダブルチェック。異なる薬品の混入間違いを防ぎます。

付設薬科機器展示会に出展します! 仙台国際センター展示棟(YK-14)でお待ちしておりますので、最新機器をご体験ください。



製造元 湯山製薬所 株式会社

販売元 YUYAMA 株式会社

大阪本社 〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目4番30号 TEL.(06)6868-5155(代)  
東京本社 〒130-0012 東京都墨田区太平2丁目10番10号 TEL.(03)3829-9511(代)

ユヤマのホームページは→  
こちらから

